

2025 年 11 月 5 日  
日本システム技術株式会社

**日本システム技術株式会社・国立大学法人愛媛大学  
「教学データを活用したアーリーアラートシステム開発」に関する  
共同研究開始のお知らせ**

日本システム技術株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：平林 卓、以下「JAST」）と国立大学法人愛媛大学（所在地：愛媛県松山市、学長：仁科 弘重、以下「愛媛大学」）は、「教学データを活用したアーリーアラートシステム開発」に関する共同研究を開始したことをお知らせします。

アーリーアラートシステムとは、学習状況の速報を表し、教育現場での支援体制強化や授業改善にも活用が期待されています。2025 年 10 月 23 日には、愛媛大学城北キャンパスの E.U. Regional Commons にて本共同研究に関する記者発表を行いました。



左から、愛媛大学 教育・学生支援機構 特任助教 真鍋 亮、同副機構長 中井 俊樹、同教育・学生支援機構長 八尋 秀典  
JAST 上席執行役員 落合 聡、同 GAKUEN 事業部長 野嶋 賢司

### ◆本共同研究の背景

愛媛大学は、文部科学省の教育関係共同利用拠点の1つである「教職員能力開発拠点」に認定されており、IR（インスティテューショナル・リサーチ）、FD（ファカルティ・ディベロップメント）、SD（スタッフ・ディベロップメント）の分野で国内トップクラスの実績を誇ります。また、JASTの大学向け教務システムである「GAKUEN」シリーズは、昨年リリースから30周年を迎え、現在では450校以上の導入実績を有します。愛媛大学が開発した予測モデル（卒業予報（※1））やIRに関する知見と、JASTが有する学生の学習状況や履修履歴などの教学データを組み合わせて新たな予測モデルを構築し、学習困難や中途退学リスクの予兆を早期に把握することで、より効果的な履修支援や学習支援を実現する目標が合致したため、共同研究の契約締結に至りました。

### ◆取り組み内容と今後の展望

本共同研究では、過去のデータ分析により卒業に影響する要因を抽出し、現在の学生に適用することで、学生自身が現在の学習状況を把握することが可能となります。また、支援が必要な学生を早期に特定し、教職員がタイミングよく声かけや面談を行えるよう支援体制の整備や、教育課題の抽出、授業設計の改善にも活用し、教育の質向上を図ります。研究期間は、2028年3月31日までを予定しており、全国の大学への展開や「GAKUEN」シリーズへの機能搭載も視野に入れ、教育の基盤構築に貢献してまいります。

JASTは、本共同研究に積極的に支援・協力するとともに、「JAST VISION 2035」に掲げたVISION「誰もが知る課題解決企業へ」を達成するべく、教育機関や地域社会が抱える課題の解決にひたむきに取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 [愛媛大学卒業予報 2025 | 教職員能力開発拠点－愛媛大学教育企画室](#)

**【本件に関するお問い合わせ先】**

日本システム技術株式会社

GAKUEN 事業部 担当：野嶋

TEL：06-4560-1030

Mail：[g-event@jast.co.jp](mailto:g-event@jast.co.jp)URL：<https://www.jast-gakuen.com/>**【報道関係者お問い合わせ先】**

日本システム技術株式会社

総務部 担当：山下、石田

TEL：06-4560-1000

Mail：[press@jast.co.jp](mailto:press@jast.co.jp)URL：<https://www.jast.jp/>

以上